



若くて元気な学生の、継続した支援で!!



東北の被災地を元気に!!

兵庫県立大学では、2011年4月に防災教育研究センター、そして2017年4月に大学院減災復興政策研究科を設立しました。また、センターの発足と時を同じくして発生した東日本大震災以降、副専攻：防災リーダー教育プログラム(旧防災教育ユニット)の専攻生を中心に学生ボランティア活動を推進しています。これらの活動には、ボランタリープラザの助成金などを活用して、宮城県石巻市や南三陸町などで14回(宮城大学と協働)、放射線の被災地でもある福島県相馬市周辺で18回の支援活動をしてきました。宮城県では、瓦礫撤去などの力仕事をはじめとして、その後、仮設住宅訪問、そして心のケアを含めた高齢者の健康支援イベント(スマイル健康塾)や南三陸町歌津・馬場中山地区での漁業(養殖ワカメとホヤ)の復旧支援と励ましの活動を継続して行ってきました。この宮城県での活動をきっかけに学生支援団体LAN(Leaders' Active Network)が全学部の学生の参加のもと発足しました。彼らは福島県の放射線被災地である相馬市、南相馬市や浪江町で現在まで継続的に活動しています。放射線被害のために震災・津波被害当時から今なお手つかずのままの地域の視察を行い、その様子を知らせる活動を兵庫県下で行っています。また、現地NPO法人「野馬土」の農産物直販施設併設のカフェの建設やジャガイモの植え付け・収穫を手伝いながら、被災農家や被災住民を励ます交流イベント(祭り)を春と夏の2回開催し、被災地に元気を届けています。福島県でのボランティア活動を兵庫県下の他大学の学生にも知ってもらうために、最近では「ひょうご大学連携バス」として、ボランタリープラザと大学コンソーシアムひょうご神戸のご支援・ご協力をいただき、他大学学生と一緒に活動しています。令和2年3月にも、大学連携バスを実施します。



宮城大学とともに



兵庫県立大学学生のボランティア活動

東北編



南三陸町旧防災対策庁舎



石巻市内の被災家屋



側溝の泥掻き(石巻市内)



瓦礫撤去(石巻市鮎川)



傾聴活動(南三陸)



養殖ワカメの収穫(南三陸町)



幸せ運べるように(合唱)



錯覚ダンス披露



スマイル健康塾



スマイル健康塾



スマイル健康塾



スマイル健康塾



福島県浪江町(2018年8月)



南相馬市(2018年8月)



野馬土カフェの建築



ジャガイモの収穫(新地町)



夏祭り(相馬市)



夏祭り(相馬市)



夏祭り(相馬市)



集合写真(相馬市)

常に迅速で、心を込めた支援を!!



被災した皆さんの心に寄り添って!!

兵庫県立大学学生のボランティア活動

東北以外編

防災リーダー教育プログラムやLANの学生たち及び大学院減災復興政策研究科の大学院生たちは、近年各地で頻発している災害(平成26年丹波市豪雨、平成28年熊本地震、平成29年九州北部豪雨、平成30年大阪府北部地震、7月豪雨)の被災地でもボランティア活動を行っています。さらに、兵庫県下の色々な地域で「地域貢献」に関わるボランティア活動や将来南海トラフで起こるとされる巨大地震に備えた「地域防災力向上を旨とした防災教育・学習や意識啓発」に関するキャンプ、フォーラム、シンポジウムやセミナーなど学校や地域での活動にも積極的に関わっています。そして、これからも活動は続きます!!



丹波市豪雨被災地での泥だし



熊本地震被災地での瓦礫撤去、傾聴(足湯)ボランティアと心のケアイベント



熊本地震被災地での瓦礫撤去と炊き出し補助



平成30年7月豪雨被災地・岡山県真備町での被災家財撤去などの活動



平成30年7月豪雨被災地・広島県坂町での継続した支援活動(健康相談、足湯、サロン、復興塾の開催など)



福良津波フォーラムの運営(防災劇、おいしい防災塾など)



神戸市東灘小学校区防災福祉コミュニティの避難所開設・運営訓練の補助



南あわじ市阿万小学生対象の防災キャンプの企画・実施



阿万防潮壁描画PJ



神戸市舞子でのまち歩き

LANtimes

福島県とLANとの紐帯

2020年3月発行

兵庫県立大学学生災害復興支援団体LAN

東日本大震災発生から9年が経った今、
兵庫県に住む人々の福島県に対するイメージを調べてみました！

調査対象：兵庫県立大学学祭「工大祭」・神戸学院大学主催「ひょうご防災フェスタ」(どちらも2019年11月開催)にて、
防災謎解きゲームに参加していただいた10代～60代の方 計145名

Q1 福島県と聞いて、思い浮かべることは？

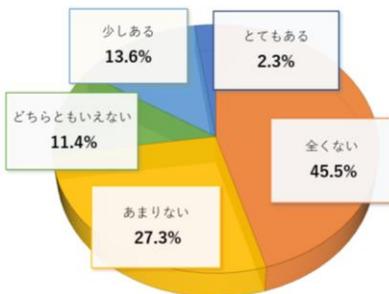


LAN から 東日本大震災から9年が経った今、被災のイメージも見受けられましたが、福島の名産品や地形についても多く挙がりました。関西でもテレビで福島の特集を見かけることがあり、そのイメージを強く持った方が多い印象を受けました。

Q2 福島県産の食品を購入することに抵抗はありますか？

少しある

- ・安全基準を満たしたもののしか売られていないことは頭では分かっているけど何となく「含まれているんじゃないか」「危ないんじゃないか」と思ってしまう。(東京都 20～30代)
- ・こどもに食べさせるため。(兵庫県 40～50代)



全くない

- ・厳重な食品チェックのもと、市場に出回っているため健康を害することもなく抵抗はない。(兵庫県 10代)
- ・福島の人には元気にやってると思うので。東北のお野菜は美味しいので。(香川県 20～30代)

あまりない

- ・売られている物は必ず安全が確認されていると思うから。(兵庫県 40～50代)

LAN から 農業の盛んな福島にとって、食品購入への抵抗は大きな問題だと感じています。LANでは学祭の模擬店で福島に関連する食べ物を販売すると共に、福島の商品がきちんと検査をされ安全であることや、福島の商品の魅力を伝えるよう努めています。

今回のアンケートで抵抗があると答えた人は少ないと感じましたが、すべての人が全く抵抗なく福島の商品を楽しめるように、これからも福島県の食の魅力と安全性を伝え続けたいと思います。



福島県の
お米とじゃがいもを使用。
大盛況でした!!

工大祭で
しんごろうとガレットを
販売しました！



Q3 農地や住宅街であった場所に 現在多くの太陽光発電が設置されています。 この土地利用方法についてどのように思いますか？

・有効活用しているのであればいいと思う。(兵庫県 20~30代)

・日本のエネルギー不足を解消していくためにいいと思うが、規制が解消されて人が戻ってくる場合はもう一度考え直す必要があると考える。(熊本県 20~30代)

・いいと思うし、悪いと思う。地球温暖化が問題となっている中、使いようがない土地を使っているのなら協力しているということでもいいと思うし、まだ使える思い出のある、反対した人が多い土地なら悪いと思う。(兵庫県 10代)



・上部太陽光で下が畑という利用法があると新聞かテレビで見たことがある。そういう利用なら良いと思うが、今農地が減っているので、未来が心配。(兵庫県 40~50代)



・発電エネルギーとしては良いと思うがもう農地や住宅街としては使えないので問題あると思う。(兵庫県 20~30代)

・前まではお米などで有名だった場所を元のように使えず悲しい。(兵庫県 20~30代)

LANから 原発20km圏内ツアーをしている時に見た太陽光発電の数に最初はとても驚きました。しかし、実際に野馬土の方からお話を聞き、目で見ることで、震災を機に使われずにいた農地を新たな利用法として使っている事に関しては、復興への一つの手段として必要なことであると感じました。

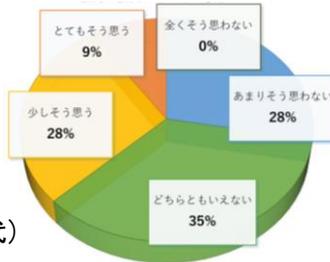
Q4 東日本大震災の発生から9年が経とうとしています。 福島県は復興していると思いますか？

とてもそう思う

・福島県の写真を見たとき不便なところがなさそうだったから。(兵庫県 10代)

少しそう思う

・8年もたっている。(兵庫県 40~50代)



あまりそう思わない

・たった8年で元に戻るとは思えないほどに、災害時の動画が悲惨なものだったと思う。(和歌山県 10代)
・ニュースなどで復興している様子があまり報道されていないから。(大阪府 20~30代)

どちらともいえない

LANから 今回のアンケートでは、「福島県の状況がわからないから、どちらともいえない」との意見が多く挙がりました。私たちLANが福島での活動を通して、兵庫に住む方に福島での現状を伝えていきたいと思っております！

・ニュースなどでまだ瓦礫が積もった場所を見るが、その一方復興が進んだというニュースも見ると。(長崎県 20~30代)
・建築物や道路などはきれいに整備されているが、人々のこころの面で未だ、傷を抱えている人も多くいると思うのでどちらともいえない。復興に終わりはないし、完成もないとどこかの先生がおっしゃっていました。(兵庫県 10代)

LAN

兵庫県立大学学生災害復興支援団体 LAN

って何なの？



Facebook



Twitter

兵庫県立大学学生災害復興支援団体のこと。
Leaders' Active Networkの略。

東日本大震災発生後より、「災害時にリーダーとなり積極的に行動する人材」になるべく活動している団体です！
主に福島県や広島県でのボランティア活動、地域の防災関連のイベントに参加しています。